

第4回市立中学校のあり方検討委員会 会議録（概要）

- 1 日時 令和5年1月26日（木）午後7時00分～午後8時30分
- 2 会場 千手コミュニティセンター 千年の森ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員 21名
 - (2) 事務局 7名 渡辺教育長、鈴木教育文化部長、富井教育総務課長、藤田指導管理主事、樋口生涯学習課長、山岸教育総務課長補佐、小野塚教育施設係長

4 会議概要

- (1) 開会あいさつ（雲尾委員長）
- (2) 議事

以下のとおり審議が行われた。

発言者	発言概要
① 検討委員会の会議日程及び内容等について（令和5年1月26日現在）	
事務局	（資料に基づき説明） （質問等なし）
② 教育内容の確認について	
ア 学校施設設備の整備状況について	
事務局	（資料に基づき説明）
委員	この説明がこの先何に生きるのか。今後どのように展開していくのかお聞きしたい。
事務局	これは、直接統廃合と関係ない部分があるが、まず学校について運営するにはいろんな経費がかかっている。それがどういう状況になっているか、また、学校の施設について、どういった施設があり、それぞれどういった教室、キャパはどのくらいなのかという部分が、最終的に再編を考えるとときに必要な資料になると考え、説明させていただいた。
委員	この資料は、地域での話合いで使っても大丈夫か。
事務局	配布資料はホームページにも公開するので使っていただいて構わない。
委員	直接この資料からは関係ないが、それぞれの給食センターでは、どれくらいの人まで対応可能なのか。何食作れるのか。
事務局	資料を持ち合わせていないので、後ほどお示しする。
委員	学校の借地料というのはこの先もずっと支払いになるのか、それとも市の所有にするようなものがあるのか。
事務局	借地料については、これまでも借地の解消に取り組んでいるが、今現在借

地料がかかっている学校について、事実としてお示しさせていただきました。借地については、平成 26 年度に借地料の状況を調査し、各施設にどれだけ借地料があるか、それと地権者に対して譲渡いただけるか伺い、もし譲渡していただけるのであれば買い受けたという交渉をした経緯がある。当市においては、借地料は地権者の事情もあり、現役の学校の借地料は必要経費と考えている。また、借地料の解消を進めているわけだが、主に遊休施設の借地料、閉校になった学校であるとか、使われなくなった学校の畑など、そういったものは積極的に解消している。

委員 中里地区と水沢地区が統合するという計画だが、光熱費について、2つの学校を比べると、倍ぐらい違うのは何か理由があるのか。

事務局 中里中学校の電気料が大きい理由の主なものとして、中里中学校は自校給食を運営しているが、この給食調理に係る電気料というのがこの中里中学校の電気料に計上されているためである。水道、下水道も同様で、給食調理で使用した光熱水費がここに入っているということでご理解いただきたい。

② 教育内容の確認について

イ G I G A スクールの整備状況・取組状況について

事務局 (資料に基づき説明)

委員 デジタル教科書についての質問だが、ふだん子供がいつもの通常の教科書とノートを持ち帰ってくると、リュックがすごく重い。それにプラスしてタブレットを持って帰ってくると、さらに重い。このデジタル教科書になると、通常の教科書は持ち帰らなくても学校に置いたままでもいいということか。

事務局 デジタル教科書は、小中学校でまだ英語と国語と道徳だけであるが、そういった方法も考えられるかと思う。

委員長 まだ全教科そろっていないので、結局はほとんどのものは持って帰るということです。

委員 G I G A スクールというのは、通信制の高校のような、いわゆる学校にそれほど行かなくてもいいというところも考えているのか。

事務局 学校は、あくまで対面が基本だと捉えており、文科省もそのようになっている。通信制の高校のようなものを目指しているわけではなく、これからも基本的には対面ということになると考えている。

委員 本当に活用の仕方といいますか、例えば、学校は数か所あっても、教える人は1人で同時中継するなど、それによって教師、職員数の確保にもなるのか、いろいろ考え方はあると思う。本当に効率だけを考えて、通う必要があるときだけ通うような感じになるんだとしたら、登校の仕方なども含め在

り方というのが変わってくると思いかせてもらった。

事務局 学校は、知識の伝達だけではなく、その中での人間関係づくりや、集団づくりなど、そういったところを学ぶ場でもあるわけなので、それが一様にそのようになっていくということは、今のところは考えられないと思う。

委員 知識を詰め込むだけだったら、別に学校なんて要らないという話になってしまう。また、今のテクノロジーは進んでおり、教育系の動画を見れば、ほぼ先生も要らないという感じになりかねない。その中で学校の意義とは何なのかというところをもっとよく考えないといけないと思う。

ただ単に知識だけを詰め込むだけであれば、正直学校なんてなくたっていいような気がする。ただ、学校ならではのことであるとか、地域の歴史、自然であるとか、そこに生活している人たちなどは、オンラインではとても学べない大事な経験だと思う。それとオンラインで得られるような知識をどう両立して行って、やはり子供たちには知識も使った上で知恵をつけてもらいたいと思う。知識を知恵に換えるために学校があるんだということをもっとみんなで共有して、今後も話し合いができればいいと思う。

事務局 知識の詰め込みという話をいただいたが、教育基本法という法律で定めているように、日本の教育の目的というのは、人格の完成であるので、当然知識の伝達だけではないと思っている。それで、ICT活用というのが知識の詰め込みだけのもので、それ以外のところ、学校で教えているところと、両立をしながらその人格の完成であるとか、その他いろいろな目的もあるが、そこへ向かっていくという姿勢を持たなければいけないと考えている。

委員 新聞か何かで見たが、タブレットを机から落としたりして、修理費用が相当かかっているという。十日町市の現状はどうか。

事務局 当市でも手が滑って落としたり、鉛筆を挟んだまま蓋を閉めてモニターが割れたなど、そういった事故は結構ある。過失であれば注意して再度壊さないようにと指導するなど、そういった運用をしている。

委員 GIGAスクール構想における、デジタル教科書等のハード環境の整備は、市の予算で対応できると思うが、指導体制の強化も考えないといけない。当然先生方は、指導において得手不得手とあると思うし、これが本当にスムーズに使えるようになるまでの研修体制や、あるいは教員の覚悟というか、そういった部分についてはどのように進めているか。

事務局 令和3年度から学校教育課・教育センターの中にICT担当の指導主事を1人配置した。市内の学校に何遍も足を運んで、研修などを行っている。技術的なことは教育総務課にも担当の参事が配置されており対応できる体制である。ソフト的なことについては、ICT担当の指導主事が一手に請け負ってやっているのが現状である。

(3) その他

① 次回会議の開催日について

日程調整表の提出を依頼。後日、次回日程をお知らせする。

② その他

なし

(4) 閉 会